

自己評価結果公表シート（令和5年度）

学校法人育保学園 アエしくまのた

1. 本園の教育・保育理念

「一人ひとり」の個性が輝く毎日を送る事ができるよう環境を整え、様々な経験と遊びを通じて健全な心身の発達を助長し、情操豊かな子どもの育成を目指す。

2. 本園の教育・保育のねらい

- ・自ら考え、行動する力を育てる。
- ・人を思いやる気持ちを育てる。
- ・集団生活を通して、規範意識を持つ力を育てる。
- ・新しいものを生みだそうとする力を育てる。

3. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・保育環境の見直し
- ・子どもへの適切な関わり方
- ・職員の働き方改革

4. 評価項目の達成及び、取り組み状況

評価項目	取り組み状況・結果
・保育環境の見直し	・教育、保育環境ガイドラインを使って、環境面の見直しを職員間で行ってきた。室内に小型の滑り台を導入することによって、それを使って体を動かす遊びの幅が広がった。戸外での遊びについては、週に2回程、職員間で意見を出し合い環境面を見直しを行ってきた。意見を出す際には現状の子どもの様子を振り返り、そこから何が必要かを検討して環境面を整えるようにしてきた。 ・時期によっては、遊びの内容がマンネリ化している時もあったので、より子ども達が楽しめる環境を今後も整えていけるようにしていきたい。
・子どもへの適切な関わり方	・不適切保育がニュースなどで取り沙汰されていることもあり、園内研修で子どもへの関わり方について職員間で話し合う機会も持つようになってきた。また法人内で人権セルフチェックを学期ごとに職員につけてもらう決まりがあるため、振り返りシートに記載をして施設長に提出をしてもらうようになってきた。また、日々の保育の中で子どもに対しての関わり方について、気付いた点は職員に理解してもらえるように施設長から伝えるようになってきた。
・職員の働き方改革	・職員の公休数について、園で定めている日数よりも2日増やして休みの日数を増やすようにした。 ・担任以外の保育士でもできることを、フリーの職員の引き取ってもらい勤務時間外に保育の準備などをする時間が極力なくなるように、計画性を持って仕事を割り振るようになってきた。またやることリストを職員間で共有し、手の空いた時にその仕事をこなしていけるような体制を整えてきたことで、残業する時間は昨年度より大幅に減ったと思われる。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
・職員のスキルアップ	・若手の先生が多かったこともあり、行事や保育について毎年同じような内容で進めることが多くあった。次年度はブラッシュアップしながら、いろいろな取り組みを進めていけるように、職員間で考えていきたい。 ・各自が研修に積極的に参加し、園に持ち帰ってそれをうまく活かせるようにしていきたい。
・子どもへの関わり方	・不適切な関わりをする職員はいないが、子どもへの関わり方について「受容・共感」が大切であることの再認識を進めていきたい。 ・実例を出しながら、それぞれの職員がどのような関わりをするのかを話し合い、より良い関わりを園全体で行っていけるようにしていきたい。
・子育て支援の充実	・園庭開放と出前保育を行ってきた概ね好評で参加者もある程度の方の人数の方が参加していただいている。子育て世帯だけでなく、高齢者の方との触れ合いの場も今後設けていけるようにしていきたい。